

カナディアンワールド、「アンの家」ガリフォーム



カナディアンワールドを管理・運営するカナディアンワールド振興会は7月20日、老朽化により傷みの目立つ「アンの家」の修繕を開始しました。

これは、同振興会が同施設の存続を目指して行ったクラウドファンディングで集めた資金を活用して実

施したもので、当日は同振興会と市内工務店の計7人により、外壁や屋根のペンキを塗り直す作業が行われました。

修繕作業は木造階段の修復などを含め8月15日に完了。同振興会の会長は「多くの市民の皆様にも足を運んでほしい」と話していました。

コロナ収束、市民の笑顔を願いサプライズ花火

8月11日午後8時、旧国設芦別スキー場からサプライズ花火が打ち上げられました。

これは、芦別商工会議所が主催し、新型コロナウイルス感染症早期収束への願いと芦別に元気を取り戻し市民に笑顔を送りたいという願いを込めて行われたもので、打ち上げられた花火は65発。約5分間にわたって

花火が芦別の夜空を彩りました。

当日は密集、密接を避けるため直前まで事前周知を行わず、自宅からの観覧を呼びかけ無観客で実施。

突然の花火ではありましたが、「花火が見れて嬉しかった」「短い時間でしたが、楽しむことが出来ました」など、市民の方々から喜びの声が聞かれました。



「農業まつり」中止も、「芦別産農産物即売会」を開催



8月22日、JAたきかわ芦別支店の敷地内駐車場にて「芦別産農産物即売会」が芦別市農業まつり実行委員会の主催によって行われました。

当日に開催を予定していた「第47回星の降る里芦別農業まつり」は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために開催中止。本来行われる予

定であったプログラムはすべて取り止められ、同即売会のみが実施されました。

北大通公園に面した同会場には、午前9時からの販売開始に向け、当日限りの特別価格で販売された芦別産メロンや切り花を求めて多くの市民が集まりました。

化石探索会でアンモナイト化石などを発掘体験

8月22日、星の降る里百年記念館が主催した「化石探索会」が開催されました。

当日は、小学生を含む12人が参加、集合場所の百年記念館からバスで芦別川上流の川原へ向かいました。

天気にも恵まれ、川辺へ下りて、白亜紀の地層が露出して石だらけの

場所を探索。この中から化石を含む石を見つけ出し、カナヅチで割って、探していきます。

参加者の一人は、「芦別でアンモナイトなどの化石の発掘体験ができてとてもよかったです。なかなか体験する機会がないので、とても勉強になりました」と話していました。

